

令和2年8月18日

3年生保護者 様

赤穂市立赤穂東中学校
校長 勝谷 英策

令和2年度 修学旅行の中止について（お知らせ）

残暑の候、保護者の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、本校の教育活動につきまして、平素から特別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、8月27日～29日に予定しておりました修学旅行について、新型コロナウイルス感染症への対策をとりながら、実施にについて検討してまいりました。

しかし、都道府県境を越えた移動規制が緩和される中、再び感染者の拡大傾向が見られる状況となり、首都圏だけでなく近畿・九州などの地方都市においても、新たな感染者が日々報告される状況になっています。

このような状況下で修学旅行を実施することを考えると、行程や個々の活動等から、不特定多数の人との接触を避けることができないことや、3密（密閉・密集・密接）回避について、日頃の学校生活以上の感染リスクが想定されます。

現在、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たず、有効なワクチンや治療薬等が開発・実用化されていない中で、万が一、生徒や教職員が感染した場合、命の危険に加え、現地で長期滞留要請が出る可能性などが想定され、今後の教育活動や家庭生活にも、計り知れない影響が出ることも考えられます。

以上のことから、赤穂市中学校長会では、生徒やそのご家族の命を守るという観点に立ち、協議を重ねた結果、安全安心を前提とした教育活動の実施、及び、進路決定を間近に控えた今後の学校運営の効果的な実施なども踏まえ、赤穂市教育委員会とも相談し、**予定しておりました修学旅行については中止とし、今後、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮に入れながら、規模を縮小した形での実施が可能かどうかも含めて、引き続き検討していく。**との結論に至りました。

中学生にとって、修学旅行は大きな思い出として残る価値ある体験的教育活動であります。今回の判断は、生徒にとって非常に辛いものであることは重々承知しており、苦渋の決断ではありますが、状況をどうかご理解いただきますようお願いいたします。

なお、今回の決定は、全ての赤穂市立中学校において、同じ判断を行っていることを申し添えます。